

香取市の特性を生かした 教育施策を望む

Q 教育によって育成されるべき生きる力の基礎となる義務教育において、この10年間香取市の学力が全国レベルより劣っている現状に対する改善策とその効果は。

A 家庭学習の手引きを作成し、市内の全保護者と児童生徒に配布しているところです。また、1人1台端末の学習環境を利用して、デジタルドリルによる基礎学力の定着を進めています。今後は、専門性を持つ教員の代表を集めた学力向上検討会を立ち上げ、より効果的な取り組みが進められるよう準備をしているところです。

Q 毎日30分程度の読書習慣は2時間の学習に匹敵し、学力アップの効果がある。また、音読はさらに脳の活性化を生むので、ぜひ各学校での活動にしてはどうか。

A 全ての市内中学校において、児童生徒の実態に応じて様々な読書活動を行っており、朝の読書、教科書教材やその作者に関連した図書を集めての並行読書、読書の記録を蓄積する読書カードなどの取り組みが行われております。



河野 節子 議員

国や県の指導通りの 部活の地域移行は可能か

Q 教師の減少や指導経験のない教師が部活の顧問として指導せざるを得ないという現状打開のために、地域移行が上がってきているが、学校内に部活指導員を市独自で採用してはどうか。

A 部活動指導員の配置も有効であると思われませんが、学校単位の部活動が基本となるため、全ての学校へ配置することは、人材の確保が困難であると考えております。

Q 部活動の地域移行に際しての問題点は、指導者の確保や地域クラブ活動団体の設立支援、教職員と地域クラブ指導者との連携、保護者への経済的負担の軽減が主な課題として挙げられます。



久保木 宗一 議員

託に関しては、十分検討してまいりたいと考えております。

Q こども園は市の経営時は看護師がいたが、民間業者になってからは看護師がいまません。子どもの命と安全を確保するために看護師を置くように指導すべきでは。

A おみがわこども園の運営に関する基準の中では、看護師や養護教諭については配置するよう努めることとしております。運営法人では、引き続き採用を目指しているところでありませ

窓口業務を民間業者から 市職員に戻すべき

Q 住民票・戸籍謄本等の市民課窓口業務を民間業者に委託してからの、待ち時間が長くなったとの苦情が出ている。業者名と年間委託料は。

A 委託先は千葉市にございますパーソルテンプスタッフ株式会社千葉営業部で



民間委託をしている市民課窓口(本庁1階)

す。現在の契約金額は3年契約になっており、3年間で1億92337万6800円となり、その中で、令和5年度としては6462万5000円となっております。

意見 業者の正規職員は1人で11人は時給の非正規職員。香取市以外で募集されたので市民からの質問に答えられない。財政的な節約にもなっていない。市の職員が二重チェックするため時間がかかる。しかもこの業者は人材派遣会社。市民課窓口は市民と職員の大切な接点です。市職員の業務に早急にもどすべきです。

Q 小見川は黒部川ポートコースという資源があるし、B&Gの指導者もいるのだから、小見川中のカヌー部を復活させてはどうか。

A 小見川中カヌー部については、学校内で十分協議した結果、部員の募集はしなかつたとお聞きしております。



水上スポーツの拠点となっている黒部川ポートコース

Q 地域移行した場合、教職員と地域クラブの指導者との連携で、コーディネーターの役割は。

A 市内や広域での連携、受け入れ団体との調整を行うといった業務が想定されることから、コーディネーターを2名程度採用し対応していきたいと考えております。

こども園・保育園の保育士は 三人体制が必要

Q おみがわこども園は市の経営から民間業者に代わったが、クラス担任が三人から二人に減ってしまった。一人一人の子どもたちに保育士の目が行き届くように三人体制に戻すよう要望すべきでは。

A クラス担任については、職員の人数が減っており、3人から約2人の体制になっている状況です。保育教諭一人一人のスキルアップを図ることにより、適切な保育が十分可能であると考えております。基準の改正・変更を要望することは可能であると思いますが、今のところ要望する予定はありません。

Q 放課後児童クラブ(学童保育)も市の経営から民間業者に委託したが、クラス担任が二人から三人に増えた。これは子どもたちにとって良い結果であり、こども園とは逆の結果になった。なぜ違いが生じたか。

A おみがわこども園を譲渡するときの運営に関する基準の中で職員の配置を国の基準と定めましたので、おみがわこども園の保育士は減っていると思います。今後、委